

平成30年度第1回農薬使用時安全性検討会 議事要旨

1. 日時：平成30年7月13日（金）14：00～15：10
2. 場所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 会議室
3. 出席：赤堀委員、櫻井委員（座長）、関田委員（五十音順）
（事務局）：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部

アシノナピル、ランコトリオンナトリウム塩、フルピリミン及びプロピザミドの農薬使用時安全性の検討を議題として開催された。その要旨は次のとおりである。

議題1 アシノナピルについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙1の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題2 ランコトリオンナトリウム塩について

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙2の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題3 フルピリミンについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙3の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題4 プロピザミドについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙4の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

その他

次回日程について

次回の農薬使用時安全性検討会は、平成30年11月に独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部会議室にて開催することが提案された。

（照会先）農薬検査部毒性検査課 大森、高嶺、工藤
電話：050-3797-1868

○アシノナピル

(総合評価) 使用上の注意事項

水和剤

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

乳剤

- (1) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○ランコトリオンナトリウム塩

(総合評価) 使用上の注意事項

粒剤

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- (2) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○フルピリミン

(総合評価) 使用上の注意事項

水和剤

散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

粒剤①

通常の使用方法ではその該当がない。

粒剤②

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- (5) 夏期高温時の使用をさけること。

○プロピザミド

(総合評価) 使用上の注意事項

水和剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。